



樹海ライン沿いで外来植物を駆除する松尾中学校の生徒

## 外来植物から八幡平を守る

### 八幡平外来植物駆除キャンペーン

八幡平の高山植物を守り、美しい自然景観を守るための八幡平外来植物駆除キャンペーンは7月5日、八幡平見返駐車場付近で行われました。

松尾中学校と秋田県鹿角市・八幡平中学校の生徒や八幡平市、鹿角市の観光・自然保護関係者など約300人が参加。アスピーテラインと樹海ライン沿いの国立公園特別保護地区に近年増えてきているセイヨウタンポポやフランスギクなどの外来植物を丁寧に取り除きました。

## 手塩にかけた牛お披露目

### 市畜産共進会

市畜産共進会は7月7、8の両日、新町牧野組合共同牛舎と市畜産共進会場で行われました。

昨年は宮崎県での口蹄疫発生で中止になったため、2年ぶりの開催。15部門に延べ207頭が出品され、体型などを競い合いました。最高位に当たる名誉賞受賞者は次の通りです(敬称略)。▷ホルスタイン種 未經産牛=盛岡農業高校、経産牛=島山秀満(渋川開拓)▷黒毛和種 未經産牛=佐々木秀秋(両沼)、経産牛=高橋勝見(南平笠)▷日本短角種=大森哲也(荒屋新町)



日本短角種名誉賞のあゆみ号(大森哲也さん【荒屋新町】出品)



ロードローラーの試乗体験を行う安代中学校の生徒

## 建設業への理解を深める

### 安代中で重機試乗体験

安代中学校(山本京助校長、生徒84人)は7月8日、同校校庭で重機の試乗体験を行いました。

県建設業協会盛岡支部青年部会(佐々木和久会長)が実施する「ふれあい事業」の一環。全校生徒が同部会員から手ほどきを受けながら、バックホーやロードローラー、高所作業車に試乗したり、光波測距儀を使った測量体験をしたりしました。この事業は、建設業に少しでも興味を持ってもらうために、平成2年から同部会で行っています。



瑞宝単光章を受章した畑保さん

## 長年にわたる功績たたえ

### 畑保さん(畑)と杉本彰さん(町組)叙勲受章

88歳に達した機会に勲章が授与される高齢者叙勲は6月1日に、東日本大震災の影響で発表が延期されていた2011年春の叙勲が6月18日に発表されました。

市からは元大更小学校校長の杉本彰さん(88歳、町組)と元松尾村消防団副団長の畑保さん(75歳、畑)が、瑞宝単光章を受章しました。

杉本さんは「松尾中学校長のときに全校でクロスカントリースキーに取り組んだことなどが思い出」と約40年間の教員生活を振り返り、40年にわたり地域の消防団活動に尽力した畑さんは「家庭を犠牲にしたときもあった。受章できたのは、家族をはじめ支えてくれた皆さんのおかげ」と感謝のこぼれを述べました。



高橋北英教育長から伝達される杉本彰さん(写真右)

## 異学年の仲間で力合わせ

### 市子どもフェスティバル

市子どもフェスティバル(市教育振興運動推進協議会ほか主催)は7月2日、アリーナまつおで開かれました。

市内11実践区のうち8実践区から26チーム・約200人が参加し、「びん立てリレー」など4競技にチームで異学年の仲間と挑戦。ことしは、松野実践区の「デンジャラス・キッズA」が優勝しました。

また、西根・西根第一・松尾中学校の生徒など32人が競技運営などのボランティアを務めました。



2人で背中に段ボール箱をはさんでリレーする「背中でハコほう」

## すなっぷギャラリー



「練り歩く山車に園児たちもくぎ付け」(7月15日、大更八坂神社例大祭)



「イワナさん、早く大きくなってね」(7月11日、安代小1年が安比川で稚魚放流)



「地区住民同士で汗を流し、交流を深める」(7月10日、浅沢地区民運動会)



「アンソメット岩手八幡平・県民体優勝」(7月5日、市役所を訪れ優勝報告)



「県産野菜などを全国へ発信」(7月1日、JA新しいわて産地出荷式)



カメラに向かってピースサインを見せる松尾ツルさん(写真中央左)

## よく動くが長生きの秘訣

松尾ツルさん(松尾)が満100歳に

松尾ツルさん(松尾)は7月15日、めでたく100歳の誕生日を迎えました。当日は、田村正彦市長が松尾さんの自宅を訪れ、「これからも長生きしてください」と長寿祝い金と花束を贈り、長寿を祝いました。

ツルさんは、明治44年旧松尾村生まれ。昭和3年に松尾勇三郎さん(故人)と結婚し、子ども1人、孫2人、ひ孫2人に恵まれました。毎日体を動かすのが長生きの秘訣で、今でも自分のことは自分でやっています。家の周りの草取りをするのが日課なそうです。

## 地域の拠点再活用の道は

よみがえる廃校全国サミット

第3回よみがえる廃校全国サミットは7月16、17日の両日、学校の宿「希望の丘」などで開かれました。

県立大学社会福祉学部の狩野徹教授らが震災時の地域の拠点としての廃校の役割などについて講演したほか、参加者がそば打ちやナニヤトヤラ体験を通じて交流を深めながら、廃校の活用策などについて意見を交わしました。なお、同サミットで、希望の丘と社会福祉法人ゆめグループ福祉会(東京都)は災害時に緊急避難場所として希望の丘を提供する協定を結びました。



廃校の利活用などについて意見を交わしました



緑に囲まれた安比でウォーキングを楽しむ参加者たち

## 初夏の高原を元気に散策

安比高原ブナの森ウォーク

安比高原ブナの森ウォーク(県ウォーキング協会主催)は7月17日、安比高原で開かれました。

県内の各ウォーキング協会会員など181人が参加。安比の草原とブナの森を巡る12キロと、安比山麓の花と彫刻を巡る5キロのコースに分かれた参加者は、安比高原の豊かな自然の中でウォーキングを楽しみました。5キロコースに参加した釜石市ウォーキング協会の小田島美代子さん(73歳)は「緑に囲まれたコースは空気がきれいなので歩いていて気持ちよかった」と笑顔を見せました。

## 優雅な琴の響き清らかに

ひなぎく幼稚園七夕まつり発表会

ひなぎく幼稚園(高橋アヤ園長、園児74人)では7月9日、七夕まつり発表会を行いました。

年長児のひまわり組の園児27人は2組に分かれて浴衣姿で「さくら」を琴で演奏。ほかの園児は演奏に合わせて合唱し、集まった保護者などから盛んな拍手が送られました。

同幼稚園では、伝統文化を大切にし、和楽器に親しみながら音感を養おうと、平成16年から琴の練習を学習に取り入れています。



浴衣姿で琴を奏でる園児たち

## 産直の旬のおいしさ集合

はちまんたい産直大集合

はちまんたい産直大集合(市産直連携協議会主催)は7月9、10の両日、さくら公園で開かれました。

4回目となることは、被災地域復興チャリティーとして、市内だけでなく宮古市、山田町、岩泉町の産直施設・企業が出店し、農産物を販売。野菜の振る舞いや市産食材を使った地産地消ランチバイキング、野菜ソムリエの北口美由紀さん(浅沢第1)と高橋弘子さん(下町一区)による夏野菜レシピ紹介なども行われ、会場は旬の味を求める人でにぎわいました。



2日間・先着100人ずつに夏野菜などが振る舞われました

## 夏の大更に活気あふれる

大更ガーデンフェスティバル

第23回大更ガーデンフェスティバル(同実行委員会主催)は7月9日、フーガの広場で開かれました。

松川一の宮太鼓の演奏で幕を開けたフェスティバルは、園児のお遊戯や小中学生の吹奏楽部の演奏などが披露されたほか、靴飛ばし大会やちびっ子カラオケ大会などが行われ、会場は盛り上がりを見せました。同カラオケ大会で優勝した川村世藍さん(大更小5年)、花妃さん(同小1年)姉妹は「昨年は3位だったので、優勝できてうれしい」と喜びを語りました。



フェスティバルで一番の盛り上がりを見せたちびっ子カラオケ大会

## すなっぷギャラリー



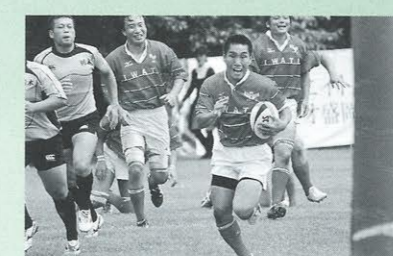
「市指定無形民俗文化財・横間虫追い祭り」(7月18日、横間虫追い祭り)



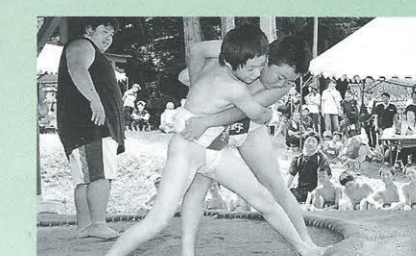
「市指定無形民俗文化財・田山先祓い」(7月17日、田山稲荷神社祭典)



「泣き相撲大会で健やかな成長願う」(7月17日、白坂観音大祭)



「岩手県選抜がトライを狙う」(7月16・18日、東日本都道府県対抗ラビー大会)



「豆力士たちが奉納相撲を披露」(7月16日、長嶺神社例大祭)